

(1) 心豊かな人と文化を育むまち

(注)

- ・「市民満足度」について

毎年、実施している市民満足度調査において、各施策の満足度を100点満点で表示したものです。

計算方法としては、満足を100点、やや満足を75点、普通を50点、やや不満を25点、不満を0点として、それぞれの得票数に乘じ合計したものを総得票数で除したものであり、50点で普通となります。

2 まちづくりの目標別主要施策の成果

(1) 心豊かな人と文化を育むまち

【担当局】

市民政策局、健康福祉局、創造都市推進局、教育局

(政 策)

「基本的人権を尊重する社会の確立」

基本的人権を尊重する社会を確立するため、同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進するとともに、人権啓発活動拠点の機能を充実し、人権を大切にする社会づくりを進めます。

また、平和意識の高揚を図るため設置している平和記念室の効果的な運営などにより、平和意識の啓発を図り、平和を大切にする社会づくりを推進します。

(施 策)

「人権を大切にする社会づくり」、「平和を大切にする社会づくり」

「人権を大切にする社会づくり」においては、市民一人一人が、あらゆる人権問題に対して、正しい認識と理解を深め、人権を尊重する社会を実現するため、市内の全地域に人権啓発推進員を引き続き設置したほか、人権・同和問題指導者研修講座、人権教育市民講座、人権フェスティバル等を開催するとともに、人権啓発活動拠点である文化センター（隣保館）・児童館においても、各種啓発事業を実施し、人権教育・啓発を推進したことにより、各種事業への参加者が増加するなど、人権問題の解決に向け、市民の人権意識の普及・高揚につながりました。また、国、県の諸計画との整合性を図るとともに、社会経済情勢の変化に対応するため、高松市人権教育・啓発に関する基本指針の見直しを行いました。

「平和を大切にする社会づくり」においては、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるとともに、平和意識の啓発・普及を図り、平和を大切にする社会をつくるため、閉館した平和記念室に代わる新たな市民の平和意識の普及・啓発の拠点として、平和記念館の整備を進めたほか、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松空襲70周年事業、高松市戦争遺品展、収蔵品巡回展及び平和教育講演会を開催するとともに、平和記念だよりの発行などにより、市民の平和意識の啓発・普及につながりました。

(政 策)

「男女共同参画社会の形成」

男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進めます。

(施 策)

「男女共同参画の社会づくり」

「男女共同参画の社会づくり」においては、市民の男女共同参画意識を高めるため、男女共同参画市民フェスティバルの開催や女性教室の開設などを通じた意識啓発や、市民活動拠点である男女共同参画センターにおける各種事業を実施したことにより、男女平等意識の向上や固定的な性別役割分担意識の解消につながりました。

また、だれもがいきいきと自分らしく生きる男女共同参画社会の実現に向けて、これまでの取組を継承しつつ、社会経済情勢の変化による新たな課題にも対応するため、「第4次たかまつ男女共同参画プラン」を策定しました。

(政 策)

「生きる力を育む教育の充実」

生きる力を育む教育の充実を図るため、次代を担う青少年が、心豊かにたくましく育つよう、基礎・基本を身につける確かな学力の育成など、学校教育の充実を図るとともに、学校教育施設の整備や就学支援の充実などの学校教育環境の整備、大学教育の充実促進などの高等教育の充実に努めます。

また、教育の原点である家庭教育の充実を図るとともに、青少年健全育成や、子どもの安全対策を推進します。

(施 策)

「学校教育の充実」、「学校教育環境の整備」、「家庭教育の向上」、「青少年の健全育成」、「子どもの安全確保」、「高等教育の充実」

「学校教育の充実」においては、児童生徒の確かな学力を育成し豊かな人間性を培うため、学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成や学習指導の工夫、少人数学級指導体制の推進等を行うとともに、特別支援教育支援員等を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育が充実したほか、問題行動等の未然防止とその解消に向け、ハートアドバイザーやスクールソーシャルワーカーを配置したことにより、組織的な指導体制・教育相談体制が充実しました。

また、菊池寛とその作品から学ぶ「寛学」事業の実施、学校図書館教育の充実、道徳教育及び人権教育の推進、さらには、児童生徒が運動に親しむ習慣や家庭との連携による基本的生活習慣づくりなどにより、子どもの「生きる力」を育む学校教育が充実しました。

「学校教育環境の整備」においては、子どもたちが安全で快適な学習ができる環境を確保するため、小・中学校屋内運動場等の非構造部材等の耐震化に努めるとともに、児童・生徒の急増により教室不足が生じている小学校の校舎増築、栗林小学校・山田・屋島中学校建設工事、高松第一高等学校の校舎改築基本設計業務、教育情報通信ネットワークシステムによる教育の情報化を推進したことに加え、就学（園）支援の充実により、子どもたちの学習環境がより一層向上し、学校教育環境の整備に寄与しました。

「家庭教育の向上」においては、保護者が家庭で子どもの基本的生活習慣を育むという本来の役割を果たせるよう、小学校・幼稚園等における「家庭教育学級」を開設するほか、全小学校の就学時健康診断の機会を活用し、就学前の子どもの保護者を対象にした「子育て力向上応援講座」を開催するとともに、早寝早起き朝ごはん運動の啓発実施や全小・中学校の児童生徒を対象とした「生活リズムチェックシート」の配布等により、子育てについて学習する機会を充実させるなど、家庭の教育力の向上に

貢献しました。

「青少年の健全育成」においては、子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指すため、青少年の非行防止活動事業を始めとする青少年健全育成事業を実施したほか、子どもたちの体験型学習活動を行う社会教育関係団体等を支援することにより、子どもたちの活動機会が増加し、心身共に健康で情操豊かな子どもの育成に寄与しました。

「子どもの安全確保」においては、児童生徒を事件や事故、犯罪から守るため、学校及び地域の学校安全ボランティア等に安全体制に関する指導助言等を行うスクールガード・リーダーを年間744回小学校等に派遣したほか、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育を推進したことにより、地域社会全体で児童生徒の安全確保と効果的な安全対策に取り組む意識が向上しました。

「高等教育の充実」においては、高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、大学等と瀬戸内地域活性化プロジェクトなどの連携事業に取り組むことにより、学生が地域とかかわる大学等の地域貢献の機会を創出し、地域における地元大学等への親近感の醸成と地元大学等へ進学する機運の向上に貢献しました。

(政 策)

「心豊かな生涯学習社会の形成」

心豊かな生涯学習社会の形成を図るため、学習の機会の拡充や図書館を始めとする施設等の充実により生涯学習を推進するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の推進や東部運動公園など施設の整備を行うほか、地域密着型トップスポーツチームを支援し、スポーツ・レクリエーションの振興を図ります。

(施 策)

「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」

「生涯学習の推進」においては、「ともに学び・支えあう、地域力を育む生涯学習社会の創造」を目標に、市民が自らの学習成果を地域や社会で活かし活動できるよう、生涯学習の拠点施設である生涯学習センターと地域のコミュニティセンターが連携して、市民の幅広い学習ニーズに応えるための様々な講座を開催したほか、図書館においては、多様化する市民の生涯学習意欲に応えられるよう資料の整備・充実に努めるとともに、中央図書館及び各地域館において図書館のネットワーク化を図り、市内及び直島町において移動図書館車による図書館サービスを行ったり、地域の課題解決支援の一環として、子育て支援事業、ビジネス支援事業も積極的に行つたことにより、学習機会が増えるなど、生涯学習の充実に寄与しました。

また、情操豊かな幼児・少年・少女の育成を支援することを目的に、「まなびCAN・子ども教室」など、子ども主体の、子どものための施策・事業を実施したことにより、子どもの学習機会が充実しました。

「スポーツ・レクリエーションの振興」においては、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、各種スポーツ団体の育成・支援やスポーツ施設・学校開放体育施設の効率的・効果的な管理運営を行ったほか、市民のだれもが、気軽に参加できるスポーツ行事として、高松市民スポーツフェスティバルを実施するなど、市民の健康・体力つくり運動の普及や、スポーツ人口の拡大に努めたことにより、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機運が向上しました。

(政策)

「地域に根ざした文化芸術の創造と振興」

地域に根ざした文化芸術の創造と振興を図るため、文化芸術ホール等を活用して優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援など、市民の自主的、創造的な文化芸術活動を推進します。

また、文化芸術施設相互の連携を図る中で、その整備と機能の充実に努めるとともに、文化芸術の交流や効果的な情報発信を図り、文化芸術を創造する環境づくりを推進します。

また、国の特別史跡讃岐国分寺跡や古代山城屋嶋城跡の整備など、長い歴史と伝統に育まれ、伝承されてきた文化財の保存と活用に努めます。

(施策)

「文化芸術活動の推進」、「文化芸術を創造する環境づくり」、「文化財の保存と活用」

「文化芸術活動の推進」においては、市民が優れた文化芸術に触れる機会の拡充や市民の自主的・創造的な文化芸術活動の推進を図るため、デリバリーアーツ（16回）や学校巡回芸術教室（21回）の実施、美術館の特別展（5回）の開催を始め、文化芸術活動補助（50件）などを行うとともに、郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、文学展などを実施したことにより、市民が身近に優れた文化芸術に触れる機会が増えるなど、市民の文化芸術活動への関心が高まりました。

「文化芸術を創造する環境づくり」においては、市民が気軽に文化芸術に触れる機会と場を創出するため、高松市文化芸術ホールや高松国分寺ホールの管理運営や自主事業を実施し、また、新たに交通の結節点において、高松市瓦町アートステーションを整備しました。また、菊池寛記念館等の文化施設の管理運営を行うとともに、まちなかパフォーマンス等を実施するなど、文化芸術を創造する環境づくりに努めしたことにより、市民に新たな文化芸術に触れる機会と場を提供するなど、地域に根ざした文化芸術の創造と振興に成果がありました。

「文化財の保存と活用」においては、市内に所在する遺跡の調査及び本市の貴重な文化財である石清尾山古墳群・屋島・讃岐国分寺跡等の保存・管理等を行いました。

また、史跡讃岐国分尼寺跡の公有化の実施や石清尾山古墳群稻荷山地区（稻荷山北端1号墳）の確認調査を行うとともに、屋嶋城跡城門遺構の環境整備工事を行い、一般公開しました。

さらに、「ふるさと探訪」など文化財学習会を開催するとともに、指定文化財の管理や公開事業に対して助成を行うことにより、市民の文化財への関心が高まるなどの効果がありました。

平成27年度 施策の概要調書

施策	人権を大切にする社会づくり	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)		
		269,917千円	54.5(56.0)		
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	基本的人権を尊重する社会の確立				
担当局	市民政策局、教育局				
対象	市民				
目的	同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現を図る。				
概要（実績）	<p>市民一人一人が、あらゆる人権問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。</p> <p>また、国、県の諸計画との整合性を図るとともに、社会経済情勢の変化に対応するため、高松市人権施策推進懇談会やパブリックコメントなどの意見を参考に、高松市人権教育・啓発に関する基本指針の見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育市民講座 2,035人参加 ・「人権啓発推進員」による啓発事業 6,153人参加 ・人権啓発推進員研修会 33人参加 ・人権・同和問題指導者研修講座 420人参加 ・ハンセン病を正しく理解する講演会 200人参加 ・人権フェスティバル 3,100人参加 ・文化センター（隣保館）・児童館利用者 86,434人 				
成果指標	①	文化センター（隣保館）・児童館利用者数	実績値	目標値	達成度
			86,434人	77,000人	112.3%
	②	文化センター（隣保館）利用者+児童館利用者			
課題	①	人権啓発事業等参加人数	実績値	目標値	達成度
			11,941人	9,200人	129.8%
	②	人権教育市民講座参加者数+人権啓発推進員による啓発事業参加者数+人権啓発講演会等4事業参加者数			
<p>【市民政策局】 同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人一人が正しい認識と理解を深めることができるように、なお一層効果的な取組が求められる。</p> <p>【教育局】 同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図っているが、市民一人一人の人権教育に対する意識・关心が十分でないことから、今後とも、社会人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。</p>					

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	人権啓発推進事業 43,271千円	人権啓発推進員への支援、人権・同和問題指導者研修講座、ハンセン病を正しく理解する講演会、ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展、人権フェスティバルの開催など、各種の啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。 「人権啓発推進員」による啓発事業参加者数 6,153人 人権啓発推進員研修会参加者数 33人 人権・同和問題指導者研修講座参加者数 420人 ハンセン病を正しく理解する講演会 200人 人権フェスティバル参加者数 3,100人
2	隣保館・児童館管理運営事業 181,109千円	各種相談事業や啓発・広報活動事業等を実施したことにより、地域住民の福祉の増進及び教育水準の向上並びに地域児童の健全育成に寄与した。 文化センター（隣保館）・児童館利用者 86,434人 施設の修繕・改修等のうち、国分寺文化センター大規模改修工事及び田村文化センター大規模改修実施設計業務委託において、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、当該事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：64,199,000円) また、前年度から繰越事業である国分寺文化センター大規模改修設計業務委託及び中川文化センター大規模改修工事については、完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：118,886,400円)
3	人権啓発活動事業 656千円	幼児・児童生徒及び保護者等による合唱、太鼓演奏、書道パフォーマンスなどを内容とする「みんなで人権を考える会」を開催し、幼児・児童生徒及びその保護者を始めとする市民の人権意識の高揚につながった。
4	文化交流推進事業 4,017千円	地域住民を対象に文化センター（隣保館）・児童館の主催で、教養を高める各種講座（社会教育学級）や、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催したことにより、地域住民の教育水準の向上や、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化、自立意識の高揚及び社会的自覚の促進につながった。
5	子ども教育推進事業 6,157千円	地区小・中学生を対象とした補充学習、地区小・中学生及びその保護者を対象とした進路・進学等についての教育相談、大学生のボランティアによる学習支援等を行ったことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上につながった。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	学校人権教育推進事業 5,978千円	高松市立の幼稚園、こども園、小学校、中学校、高等学校に対し、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研修会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。
7	社会教育指導員設置事業 17,734千円	地域における子どもの学習指導・生活指導を充実させ、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置した。 また、社会教育指導員の派遣を行ったことにより、人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修が充実した。
8	社会人権教育推進事業 10,479千円	市民に対し、人権教育市民講座や人権教育研修会の開催、人権教育指導資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。
9	人権教育事務 516千円	人権教育課職員が四国地区人権教育研究大会、全国人権・同和教育研究大会等に参加し、人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行ったことにより、市民に対し、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。

平成27年度 施策の概要調書

施 策	平和を大切にする社会づくり	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		6,829千円	56.7(57.8)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政 策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局

対象	市民				
目的	平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭などの開催により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。				
概要（実績）	市民に戦争の悲惨さと、平和の尊さを訴えるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松空襲70周年事業、高松市戦争遺品展、平和教育講演会及び収蔵品巡回展を開催したほか、平和記念だよりを発行したことなどにより、市民の平和意識の啓発・普及につながった。				
成果指標	① 指標名	平和記念室入館者数	実績値	目標値	達成度
	指標式		—	—	—
② 指標名	年間入館者数 平和記念室が平成24年3月に閉館したことにより、指標から除外した。	実績値	目標値	達成度	
	指標式	7,470 人／年	7,300 人／年	102.3%	
課題	平和を大切にする社会づくりに向け、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭や戦争遺品展などに加え、収蔵品巡回展を実施するなど、継続的かつ積極的なソフト事業の実施が必要である。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	平和啓発推進事業 6,829千円	<p>市民に戦争の悲惨さと、平和の尊さを訴えるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭を開催するなど、市民の平和意識の啓発・普及に寄与した。</p> <p>平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭 参加者 154人 高松空襲写真展 展示点数 35点 高松空襲70周年事業 参加者 189人 高松市戦争遺品展 展示点数 156点 教職員のための平和教育講演会 参加者 27人 収蔵品巡回展 展示点数 58点 平和記念だより 4回</p>
	市民政策局 人権啓発課	
2	平和記念館整備事業	<p>平和記念室は、設置していた文化センターの老朽化等による廃止のため閉館し、子どものための施設として整備される「高松市こども未来館」、移転整備される「高松市男女共同参画センター」と一体的に、新たに「高松市平和記念館」として整備する。</p> <p>平成23年7月にとりまとめた基本構想を基に、24年7月に「高松市こども未来館（仮称）、高松市平和記念館（仮称）、高松市男女共同参画センター基本計画」を策定し、26年5月に展示設計を取りまとめ、26年12月より、展示製作を進めている。</p>
	市民政策局 人権啓発課	

平成27年度 施策の概要調書

施 策	男女共同参画の社会づくり	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		46,032千円	54.0(52.9)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政 策	男女共同参画社会の形成
担当局	市民政策局、健康福祉局、教育局

対象	市民			
目的	男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進める。			
概要（実績）	<p>男女共同参画社会の実現に向け、前年度に引き続き、男女共同参画週間や男女共同参画市民フェスティバルにおいて、講演会やパネル展等を実施するとともに、これまでの取組を継承しつつ、社会経済情勢の変化による新たな課題にも対応するため、「第4次たかまつ男女共同参画プラン」を策定した。</p> <p>男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である男女共同参画センターにおいて、学習研修事業や相談事業等を実施したことにより、男女共同参画社会の形成促進に一定の効果が得られた。</p> <p>コミュニティセンター等において女性教室を開設した結果、女性の自主的な学習や社会活動への参画につながった。</p> <p>女性相談により、生活・家庭等、女性の抱える問題や悩みを解消・軽減したほか、配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）に関する相談について、関係機関と連携し、必要な保護・支援を行ったことにより、配偶者からの暴力防止に対する効果的な支援につながった。</p>			
成果指標	①	審議会等における女性委員の割合	実績値 38.2 %	目標値 40.0 %
		女性委員数／全委員数×100		達成度 95.5%

課題	<p>【市民政策局】 女性の活躍推進や子育て世代の女性の就労環境など、経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応するため、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。</p> <p>【健康福祉局】 配偶者等からの暴力による被害女性に対し、自立に向けた心理的ケアが必要であり、女性相談業務の専門性を高めるなど、更なる体制の充実を図っていくことが必要である。</p> <p>【教育局】 社会情勢の変動等に伴い、多様化する女性の価値観やニーズを的確に把握して、時代に即応した講座の実施が求められている。</p>
-----------	--

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	男女共同参画社会推進事業 1,414千円	男女共同参画都市宣言の趣旨を踏まえ、男女共同参画週間に講演会を始め、街頭キャンペーンや弁護士相談を実施したほか、男女共同参画市民フェスティバルなどの機会に広く市民に対する啓発活動を行うなど、男女共同参画社会の推進に寄与した。
2	市民政策局 男女共同参画推進室 男女共同参画センター管理運営事業 29,930千円	男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である高松市男女共同参画センターの管理運営を、前年度に引き続き、特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネットに委託し、学習研修事業や相談事業を実施するなど、男女共同参画社会の実現に寄与した。
3	女性教育推進事業 1,475千円 教育局 生涯学習課	女性が豊かな人間性を培い、自らの資質や能力の向上を図るとともに、社会活動への積極的な参画を促進するため、地域コミュニティセンター等において女性教室を開設し、多種多様な学習や体験活動の機会を提供した。 ・女性教室の開設数 地域コミュニティ 48教室 市民グループ 2教室
4	女性団体育成事業 1,000千円 市民政策局 男女共同参画推進室	男女共同参画の視点から、地域社会の発展に寄与することを目的とした女性団体の活動を支援した。
5	女性相談事業 8,832千円 健康福祉局 こども女性相談室	DVを始め、様々な問題や悩みを抱える女性からの相談に対して、女性相談員が必要な支援を行うことにより、問題等の解決につながった。 女性相談員 3人 相談日時 月曜日～金曜日 9時～16時 延べ相談件数 2,872件

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	男女共同参画センター 移転整備事業	建物の老朽化や耐震診断の結果を踏まえ、再整備が必要とされた男女共同参画センターについて、こども未来館や平和記念館等と同一の建物内への移転整備の準備を進めた。
7	市民政策局 男女共同参画推進室	次期たかまつ男女共同参画プラン策定事業 3,381千円
	市民政策局 男女共同参画推進室	平成27年度で「第3次たかまつ男女共同参画プラン」の計画期間が終了することや、27年8月に、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が成立したことを踏まえ、だれもがいきいきと自分らしく生きる男女共同参画社会の実現に向けて、これまでの取組を継承しつつ、社会経済情勢の変化による新たな課題にも対応するため、「第4次たかまつ男女共同参画プラン」を策定した。

平成27年度 施策の概要調書

施 策	学校教育の充実	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)		
		1,592,183千円	56.6(56.4)		
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	生きる力を育む教育の充実				
担当局	教育局				
対象	高松の子どもたち（児童生徒）、学校、家庭及び地域				
目的	教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、高松の子どもたちの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い相互に連携して学校教育を充実させる。				
概要（実績）	<p>学習指導要領の趣旨に沿った授業、少人数学級の推進等で、総合的な学力の向上を図り、また、特別支援教育、帰国児童生徒・外国人児童生徒指導援助、高等学校教育等を充実させることにより、確かな学力の育成に努めた。</p> <p>道徳教育や学校人権教育の推進、体験活動による地域の人々との交流、読書活動による本とのふれあい、児童生徒が運動に親しむ習慣づくりや家庭との連携による基本的生活習慣を育成することにより、豊かな心と体を育てる教育の推進に寄与した。</p> <p>教員に対する研修を充実させ、教員の資質向上に取り組むとともに、また、特別支援教育支援員配置や学校評価推進による学校運営の改善等により、教育指導体制の充実させた。</p>				
成果指標	① 指標名	教職員研修参加者数	実績値 2,534 名	目標値 1,500 名	達成度 168.9%
	② 指標式	1年度における教職員研修参加者数			
	③ 指標名	不登校児童生徒の学校復帰率	実績値 66 %	目標値 50 %	達成度 132.0%
	④ 指標式	1年度における学校復帰者数／1年度における適応指導教室在籍者数×100			
課題	⑤ 指標名	生鮮野菜・果物の県産使用割合	実績値 48.3 %	目標値 50.0 %	達成度 96.6%
	⑥ 指標式	学校給食による生鮮野菜・果物の県産品年間使用量（重量）／同生鮮野菜・果物の年間使用量（重量）×100			
	本施策については、日々教育活動を充実していくことが重要であり、また、子どもの健全育成のために、地域や家庭の教育力の向上を支援する取組の充実、また、確かな学力の定着と個性と創造性を伸ばす教育を更に進めるため、わかりやすい授業の創造や授業内容を向上させる具体的な取組が課題である。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	高等学校カウンセラー配置事業 466千円	生徒の不登校や問題行動等に対応するため、専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者等へのカウンセリングを行い、生徒の快適な学校生活を支援した。
2	帰国児童等指導援助事業 4,281千円	市立小中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導援助を行う指導者を派遣し、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるよう日本語指導が行われた結果、学校生活を支援する上で成果が得られた。
3	総合的な学習の時間活性化推進事業 6,330千円	総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小中学校71校全校に経費補助を行ったことにより、各学校において効果的な活用が図られ、家庭、学校、地域、行政などの緊密な連携づくりに寄与した。
4	教材整備事業 99,391千円	概ね計画どおりに小学校及び中学校の教材を整備し、児童・生徒の学習環境が充実した。
5	教材研究等事業 111,006千円	教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図ったほか、新学習指導要領の移行措置に対応した教師用指導書を支給し、確かな学力を育てる教育を推進した。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	教育相談・就学指導委員会開催事業 1,581千円	平成27年度は、小学校新入学児への就学等教育相談を221件、就学指導委員会においては、在籍児童を含めた就学判定を計364件行うなど、適正な就学指導に寄与した。
7	不登校対策事業 20,991千円	適応指導教室推進事業として「虹の部屋」「みなみ」を運営する他、教育相談や学習支援、体験活動を行ない、「虹の部屋」45名「みなみ」5名が通室し、37名が学校復帰した。 フレンドシップ事業として、本市小中学校の不登校傾向のある児童生徒を対象に、自立心や社会性を育てるために年3回の活動を行い、延べ181人が参加した。 不登校に関する援助推進委員会を年間2回開き、より効果的な支援策について検討した。
8	教育文化振興事業 4,520千円	教育文化祭音楽会においては、小学校12校(527名)、中学校22校(728名)の児童生徒が参加し、合唱・音楽劇・合奏・吹奏楽で日頃の音楽活動の成果を発表したことにより、保護者等、多くの来館者を得た。科学展、展覧会等を開催することにより、児童生徒の豊かな創造力と表現力の育成に寄与した。
9	環境教育推進事業 8,804千円	「高松市子ども環境学習交流会」を開催し、児童生徒による各学校の環境学習の取組みの発表や、エコホタルの見学等を行うことにより、環境意識の高揚につながった。 また、「香川用水の水資源巡りの旅」(中学生対象)を実施し、早明浦ダムや池田ダム等の見学をすることにより、香川用水及び水資源の重要性についての意識の高揚につながった。
10	児童生徒指導推進事業 91,098千円	学校、地域に関わりの深い人材40名を「ハートアドバイザー」として、小学校40校に配置し、学習支援、生活支援、教育相談等にあたることにより、問題行動等の未然防止と解消に寄与した。 また、社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカー11名を中学校23校に配置し、専門的な知識や技術、関係機関とのネットワークを活用し、対応策を立てることにより、問題行動等の未然防止と解消に寄与した。 さらに、中学校23校において、生徒指導に関する地域ボランティアを募り、140名に委嘱するとともに、学校サポート委員会を組織するなど、地域の教育力を生かしながら、生徒の健全育成を進めた。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	給食調理場管理運営事業 191,042千円	学校給食センター以外の調理場において、機器類の整備等、適切な維持管理を行うことにより、安全安心な学校給食を提供することができた。
12	日本スポーツ振興センター負担金事業 34,134千円	学校管理下における児童生徒等の災害に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターにおいて、災害共済給付（医療費・障害見舞金・死亡見舞金）を行ったことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の負担軽減に寄与した。
13	学校給食推進事業 5,398千円	給食関係職員等に対して、専門知識を深める研修会等を実施し、資質の向上を図るとともに、各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底に取り組んだ。
14	学校給食共同調理事業 37,258千円	学校給食センターから、受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託により、迅速・確実・安全に行うと同時に、学校給食センターにおける配膳業務に係る嘱託職員を雇用することにより、配膳用務の円滑化を図り、安全安心な学校給食を提供することができた。
15	共同調理給食運搬事業 64,547千円	学校給食調理場から、受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託により、迅速・確実・安全に行うと同時に、学校給食共同調理場等における配膳用務に係る嘱託職員を雇用することにより、配膳用務の円滑化を図り、安全安心な学校給食を提供することができた。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
16	生徒等健康診断事業 152,458千円	児童・生徒の健康診断を実施し、疾病の早期発見と適切な予防に役立てたほか、小児生活習慣病予防検診を全小学校の4年生を対象に実施し、さらに、小学校での生活習慣の改善が継続できているかの確認をするため、全中学校1年生のうち、肥満度・腹囲などから抽出した者を対象に実施するなど、健康診断を充実させた。 また、就学時健康診断を実施し、小学校入学予定者の健康状態等を把握し、円滑な学校教育の推進と学校保健の向上に取り組んだ。
17	高松市学校給食会補助事業 63,177千円	高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の食材等給食用物資を適正かつ円滑に供給し、学校給食の質の向上及び学校給食に係る保護者の負担軽減に取り組んだ。
18	給食センター管理運営事業 317,757千円	学校給食センターにおいて、適切な施設管理に努め、円滑な運営を行うことにより、安全安心な学校給食の安定的な提供ができた。
19	学校体育推進事業 41,386千円	児童生徒の交流の場として体育大会を開催し、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、学校体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成に取り組んだ。
20	教職員能力向上事業 16,914千円	学校職員の資質・能力を向上させることを目的として、平成27年度は、運営する総合教育センターにおいて、管理職研修、初任者研修、節目研修等34種の研修を実施し、学校課題の解決及び学校教育の充実に貢献した。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
21	教育に関する調査研究推進事業 13,975千円	市内の小中学校に調査研究への協力を依頼し、その研究成果を研究紀要にまとめ、各校（園）・関係機関に配布するとともに、総合教育センターWebページに掲載した。 また、調査研究成果の普及を図るため、市立学校・園の教職員を対象に、研究発表会を開催した。（参加者数 153名）
22	教育研究研修事業 10,216千円	「高松市子ども議会」を開催し、小・中学校の児童生徒の代表が、自ら作成した質問による市議会の模擬議会を体験し、児童生徒の市政についての関心が深まるとともに、未来の有権者としての自覚を促す効果があった。 また、学校現場における自主的研修に助成し、教員の資質向上に寄与した。
23	研究指定校研究推進事業 1,720千円	国・県から研究指定校等事業を受けることにより、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実や、教職員の資質・能力の向上に一定の効果を得ることができた。 平成27年度は、教育課程研究指定校事業（屋島小）、学力向上モデル校事業：思考力等の育成モデル校事業（下笠居小）、道徳教育地域支援委託事業（香東中）、中学国語力向上事業（牟礼中）、いじめ・不登校・暴力行為等の未然防止事業（屋島小、屋島東小、屋島西小、屋島中）を実施した。
24	学校評議員制度推進事業 教育局 学校教育課	学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、一体となって、子どもの健やかな成長を図っていくため、学校評議員を委嘱し、学校運営に有効に活用するとともに、より一層地域に開かれた学校づくりの推進に役立てた。 学校評議員の任期は1年以内とし、学校運営に意見を述べることができる。このことにより、学校や地域の実情に応じて、学校運営に関し、保護者や地域住民等の協力を得ることができた。また、学校運営の状況等を周知するなど、保護者や地域住民等の意向を反映するとともに、学校としての説明責任を果たすことができた。
25	英語教育推進事業 113,114千円	「語学指導等を行う外国青年招致事業」（JETプログラム）による外国語指導助手（ALT）22名を各学校に派遣することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育が充実した。 また、小学校において、小学1年生から実施する英語教育において、学級担任を補助する「英語指導補助員」を全小学校に配置することにより、英語教育が充実した。さらに、小学生高学年の希望者を対象に、「1日英語生活体験教室」を実施することにより、英語学習に対する興味を喚起し、英語学習を発展させる機会とした。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
26	児童生徒副読本支給事業 35,508千円	学校教育における補助教材として、小学校1年生から6年生に体育用と道徳用、小学校3・4年生に社会科用、中学校1年生から3年生に道徳用の副読本を支給することにより、教育の充実に寄与とともに、保護者の負担を軽減した。
27	高等学校英語教育推進事業 3,753千円	選抜コースの国際文科コースにおいて、外国からの招聘講師による授業や、外部講師による英語による授業、海外語学研修を実施するなど、多様な手法により国際化に対応できる人材を育成した。
28	いじめ等対策事業 4,090千円	12学級以上（特別支援学級は除く）の小学校35校に、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー及びスクールカウンセラーに準ずる者を配置することにより、小学校におけるいじめ、不登校等の問題行動等の早期発見・早期対応につながった。 また、中学校区に同一カウンセラーを配置し、年間1～3回の小中連絡協議会を開催することにより、小学校における教育相談活動の充実や小中学校が連携した取組みが進んだ。
29	教育委員会事務 11,011千円	教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育に関する事務を執行するため、施策等について協議・決定した。 また、教育振興基本計画の推進、教育委員意見交換会を開催した。
30	学校保健推進事業 43,618千円	環境衛生検査を実施することにより、学校における教育活動が安全な環境の下で行われ、学校内の環境衛生が向上することに貢献した。 また、教職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見と教職員の健康の保持増進に貢献した。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
31	高等学校教育研究研修事業 53,180千円	各種の研究会等への参加や、研究用の雑誌を購読し、教員の資質の向上と授業の質を高め、生徒の学力向上に寄与した。
32	高等学校教材研究等事業 19,476千円	教師用教科書・指導用図書及び理科・数学を始めとする教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコン等の賃借など、教材等の管理・整備を行うことにより、教育環境が充実した。
33	菊池寛及びその作品から学ぶ「寛学」事業 585千円	郷土の偉大な作家、菊池寛の生い立ち及び作品を掲載した、小学校・中学校用作品集を作成し、小・中学校の学級に備え付け、児童生徒（小学校5、6年生、中学校1～3年生）を対象として、一斉読書活動や道徳等の時間に活用することにより、郷土愛や向上心の醸成に寄与した。 また、事業趣旨の浸透を図り、作品に接する多様な機会を創出するために、小学校9校を選定し、各校において朗読劇の出前講座を実施した。（5年間継続の2年目）
34	次期教育振興基本計画策定事業 766千円	次期教育振興基本計画を策定するに当たり、計画案について教育委員会定例会、総合教育会議、策定懇談会等において検討するとともに、市議会やパブリックコメントにより広く意見をいただき、平成28年3月に「第2期高松市教育振興基本計画」として策定した。
35	理科教育支援員配置事業 3,528千円	児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めるとともに、担任が指導する理科授業の内容を向上させるため、小学校の指定校に「補充学習や発展的な学習など、学力向上等のための学校サポーター」として配置し、理科授業を支援した。

平成27年度 施策の概要調書

施 策	学校教育環境の整備	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		5,713,670千円	56.9(57.2)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政 策	生きる力を育む教育の充実
担当局	健康福祉局、 <u>教育局</u>

対象	市立小・中学校、幼稚園、高松第一高等学校の児童・生徒及び園児								
目的	学習環境の充実を図ることにより、子どもたちの学力・体力の向上を目指す。								
概要 (実績)	<p><学校教育施設の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の屋内運動場等の非構造部材等の耐震化 ・山田中学校の校舎等の改築、屋島中学校プール解体、栗林小学校改築、三渓小学校の校舎増築など ・高松第一高等学校改築基本設計業務、テニスコート等改修工事など <p><教育機能の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領実施に伴う教材整備 ・図書教育用パソコンの整備など <p><家庭・地域との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校サポート協議会の運営（新番丁小）など 								
成果指標	① 指標名 指標式	幼稚園施設耐震化率 耐震性能のある棟数／学校施設棟数（床面積200m ² 以上もしくは2階以上）×100	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>100 %</td> <td>100 %</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	実績値	目標値	達成度	100 %	100 %	100.0%
実績値	目標値	達成度							
100 %	100 %	100.0%							
	② 指標名 指標式	小・中学校施設耐震化率 耐震性能のある棟数／学校施設棟数（床面積200m ² 以上もしくは2階以上）×100	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>100 %</td> <td>100 %</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	実績値	目標値	達成度	100 %	100 %	100.0%
実績値	目標値	達成度							
100 %	100 %	100.0%							
	③ 指標名 指標式	高松第一高等学校施設耐震化率 耐震性能のある棟数／学校施設棟数（床面積200m ² 以上もしくは2階以上）×100	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>100 %</td> <td>100 %</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	実績値	目標値	達成度	100 %	100 %	100.0%
実績値	目標値	達成度							
100 %	100 %	100.0%							
課題	<p>【健康福祉局】 老朽化した公立幼稚園施設や幼稚園備品等については、計画的に整備等を行い、良好な教育・保育環境を維持していく必要がある。</p> <p>【教育局】 財政状況が厳しい中、学校施設や学校備品等については老朽化が進んでおり、今後も計画的な改築、修繕が必要である。</p>								

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1 小・中学校校舎等増・改築事業 教育局 総務課	1,005,903千円	校区内の急激な都市化により、教室不足が生じている小・中学校の校舎等の増・改築等整備を行った。 なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、栗林小学校、林小学校校舎等建設事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：358,031,000円) また、前年度から繰り越した栗林小学校、三渓小学校、龍雲中学校校舎等建設事業分については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：86,623,375円)
2 小学校狭隘校地拡張整備事業 教育局 総務課	27,215千円	校区周辺の都市化により、児童数が想定以上に増加したことに伴う校舎の増築などにより、既存学校用地が狭隘化した学校について学校用地の拡張を行った。 また、前年度から繰り越した十河小学校用地取得事業分については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：27,215,289円)
3 塩江地区小・中学校建設事業 教育局 総務課	386千円	塩江中学校の敷地に小・中学校の施設を一体的に整備し、平成27年4月に塩江地区3小学校を統合、新たな塩江小学校が開校した。
4 特別支援教育推進事業 教育局 学校教育課	112,618千円	特別支援教育支援員65人を雇用し、小学校48校中42校に各1名、1校に2名を、中学校23校中19校に各1名、1校に2名を配置したことに加え、特別支援教育サポーター44人を雇用し、小学校に26校に各1名、1校に2名を、中学校16校に各1名を配置し、特別支援学級や通常の学級に在籍する様々な障害のある児童生徒の基本的生活習慣の確立や身体能力の向上などに寄与した。
5 少人数学級推進事業 教育局 学校教育課	23,231千円	生徒指導上の困難な課題を抱えるなど、学級の安定を図る必要がある小学校第5、6学年を対象に、1学年106人以上、1学級35人以上の児童数を有し、現有施設で対応可能な希望校に、市費講師1名を配置することにより、個に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、少人数で落ち着いた学級経営に寄与した。 平成27年度は、少人数学級推進校8校を対象に実施した結果、授業離脱や授業妨害、離席などが減少し、落ち着いた学級経営が行えるようになった。また、教師が一人一人の児童に関われる時間が増え、児童が学習に意欲的に取り組むようになり、県学習状況調査や県版テストなどで、学力の向上が見られた。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6 小中一貫・連携教育推進事業 8,337千円	教育局 学校教育課	小中一貫教育校の実践研究により得られた成果を、可能な限り他の小・中学校の教育活動に反映させるため、15中学校区の小・中学校を小中連携指定校に指定し、小・中学校間で連携を図った教育課程編成や、各教科等の指導の在り方について必要な調査・研究を行った。 また、中1ギャップ解消のために、平成26年度から中1スタートサポートー5人を市内中学校5校に配置した。小学校第1学年からの英語教育や「高松みらい科」の実践、小学校高学年での中学教員による一部教科担任制の実施により、不登校数の増加がみられないことや学力の向上の成果が表れ、子どもたちの健やかな成長に寄与した。
	教育局 学校教育課	
7 学校図書館活性化推進事業 134,524千円	教育局 学校教育課	学校図書館指導員62人を雇用し、小学校48校、中学校23校に配置するとともに、児童生徒の在籍数に応じて、小学校39校、中学校15校には専任配置としたことにより、図書室の環境整備や図書の選定、学習に必要な資料の収集、読み聞かせ等読書活動が充実し、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数も增加了。 また、学校図書館指導員の研修会を年間9回実施し、指導員としての資質向上による各学校での業務の充実に貢献した。
	教育局 学校教育課	
8 高松市総合教育センター整備事業 教育局 総合教育センター	新塩屋町小学校の跡地に教職員研修の体系化と一元実施による資質の向上や、教育の情報化の推進、また、教育相談の充実を図るために、適応指導教室を併設する、総合教育センターを整備する事業の一環として、北棟の撤去工事に着手した。 なお、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：125,300,000円)	
	教育局 総合教育センター	
9 小学校管理運営事業 747,943千円	教育局 学校教育課	小学校のうち、合併協定に基づく対象校や、へき地教育対象校、生徒指導困難校に常勤講師7人を配置することにより、教育を充実させたほか、各教科や部活動等において社会人の活用を図る特別非常勤講師を小学校47校に71人配置することにより、学校教育の活性化及び多様化に貢献した。
	教育局 学校教育課	
10 小学校校舎等整備事業 772,119千円	教育局 総務課	学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。 なお、契約の締結に不測の日時を要したことなどにより、太田南小学校外壁改修等の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：47,783,000円) また、前年度から繰り越した亀阜小学校外壁改修等の一部については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：79,881,996円)
	教育局 総務課	

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	中学校校舎等整備事業 367,673千円	学校施設の整備を図り、教育施設の充実を図るため、修繕・改修工事を実施した。 なお、契約の締結に不測の日時を要したことなどにより、香川第一中学校外壁改修等の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：56,494,000円) また、前年度から繰り越した国分寺中学校外壁改修等の一部については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：38,914,640円)
12	中学校管理運営事業 361,081千円	中学校のうち、合併協定に基づく対象校や、へき地教育対象校、生徒指導困難校に、教育の充実や教科指導、及び複式解消のために必要な常勤講師4人及び、非常勤講師1人を配置することにより、学校教育の円滑な運営が実現できたほか、各教科や部活動等において社会人の活用を図る特別非常勤講師を中学校7校に8人配置することにより、学校教育の活性化及び多様化につながった。
13	高等学校管理運営事業 55,926千円	安全で快適な学習環境を確保するため、施設の維持管理や管理用品の措置に努め、生徒の学力の向上に寄与したほか、老朽化した施設の改修工事を実施し、教育環境の整備に努めた。
14	幼稚園管理運営事業 285,531千円	幼稚園設置基準に基づき、公立幼稚園の維持管理を適正に行うことにより、保育している幼児の心身ともに健やかな育成に寄与した。 なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：2,862,000円)
15	給食センター整備事業 2,577千円	安全で良質な学校給食の提供を図るため、施設の老朽化が著しい調理場や校区内の児童生徒数の増加により調理能力がひっ迫している調理場について、複数の調理場を統合し学校給食センターを建設するため、物件調査業務及び境界確定等業務を行うとともに基本設計に着手した。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
16 教育情報通信ネットワークシステム（T E N S）管理運営事業	547,848千円	市立小・中学校とネットワークセンターや関係機関を高速専用回線で結び、システムの安定性と安全性を担保しつつ教育の情報化を推進した。 また、国の整備方針に基づき、計画的に小・中学校の教員に校務用ノートパソコンを整備するとともに、校務の効率化およびセキュリティリスクの低減を図る目的でシステムのクラウド化に取り組み、教育用コンテンツの蓄積と紹介等、T E N S を活用した情報教育支援事業を行った。
	教育局 総合教育センター	
17 特別支援教育就学奨励事業	15,073千円	小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に役立てた。
	教育局 学校教育課	
18 学校教育管理事業	8,873千円	学校教育課に配置される非常勤嘱託職員、及び臨時の任用職員の人事費支出とともに、学校教育課が所管する業務に係る事務的経費の支出を行うことにより、学校教育の円滑な運営に寄与した。
	教育局 学校教育課	
19 遠距離児童・生徒等通学費助成事業	23,891千円	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内の通学が困難な地域から通学する児童生徒の保護者、また、新設統合校の開校に伴い、従前より通学距離が延長となる児童の保護者に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、児童生徒の安全を確保し、保護者の負担を軽減した。
	教育局 学校教育課	
20 学校図書館図書整備事業	37,154千円	各小・中学校の学校図書館図書標準達成率に基づき、小学校48校、中学校23校に図書整備費を配当し、廃棄も行いながら、各校において図書整備を進めたことから、全小・中学校の学校図書館図書標準達成率が、概ね100%を維持し、各校における読書や学習に必要な図書が整備されたことにより、読書活動の活性化が図られ、児童生徒の一人当たりの年間貸出冊数の増加につながった。
	教育局 学校教育課	

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
21	教育資金支援事業 31,097千円	成績優秀かつ向学心おう盛な生徒であって、経済的理由のため就学困難な者に対し、奨学金を支給するとともに、高等学校等に入学を希望する生徒の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金を貸し付けることにより、教育の機会均等に寄与した。 また、大学等へ進学した者の保護者で、入学資金融資制度を利用した者に対し、利子補給を行い、保護者の経済的負担を軽減した。
22	就園等奨励事業 486,041千円	幼稚園教育の振興と少子化対策事業の一環として国の就園奨励費補助金を始め、本市の就園費補助金や、第3子以降幼児保育料等補助金を交付することにより、保護者の子育てに係る経済的な負担の軽減に寄与した。
23	高等学校図書整備事業 1,288千円	学校図書館法に則り、生徒及び教員の利用に供するため、学校図書館の図書等を整備し、学校教育の充実と教養の育成、調査研究等に寄与した。
24	就学奨励事業（学校教育課） 407,420千円	経済的な理由によって、小・中学校に就学することが困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に役立てた。
25	高松第一高等学校校舎等改築事業 72,666千円	生徒が安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した校舎等の全面改築に伴う基本設計業務や、建設用地の地質調査等を実施し、学校教育環境の整備に寄与した。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
26	特別支援教育体制整備 推進事業 217千円	市立保育所、幼稚園、小・中学校、及び高等学校を対象として、特別支援連携協議会の設置、巡回相談・連携訪問の実施、専門家チームの設置・運用、特別支援教育に関する研修等を実施し、特別支援教育の体制の整備を推進し、特別支援教育が充実した。
27	教育局 学校教育課 私立幼稚園施設型給付 事業 177,038千円	子ども・子育て支援新制度に移行する私立幼稚園に対し、法で定める公定価格に基づき、施設型給付として給付することにより、私立幼稚園の適正かつ円滑な運営を助長し、就学前教育の充実につながった。
	健康福祉局 こども園運営課	

平成27年度 施策の概要調書

施 策	家庭教育の向上			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)																														
				4,841千円	53.5(53.3)																														
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち																																		
政 策	生きる力を育む教育の充実																																		
担当局	教育局																																		
対象	市民（家族に子どもがいる家庭）																																		
目的	次代を担う子どもたちが心豊かにたくましく育つために、大変重要な役割を担っている家庭教育の充実を図る。																																		
概要（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級の開設により、家庭教育の向上を推進した。 地域コミュニティ 小学校46学級、幼稚園30学級 市民グループ 2学級 子育て力向上応援講座を市立の全小学校及びほとんどの幼稚園で実施したことにより、子育てやしつけ等の向上に寄与した。 早寝早起き朝ごはん運動の啓発のため、就学時健康診断時に全小学校で関係資料を保護者に配布し、子どもたちの基本的生活習慣の形成を推進したほか、小・中学校の児童・生徒を対象に「生活リズムチェックシート」を配布し、自らの生活習慣を見直す機会を提供した。 																																		
成果指標	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>朝ごはんを食べている子どもの割合（香川県下の小学6年生）</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td>86.3 %</td> <td>90.0 %</td> <td>95.9%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>指標式</td> <td>朝ごはんを食べている子ども数／調査した子ども数×100（香川県下の小学6年生）</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>23,832人</td> <td>27,000人</td> <td>88.3%</td> </tr> </table>	指標名	朝ごはんを食べている子どもの割合（香川県下の小学6年生）	実績値	目標値	達成度	①		86.3 %	90.0 %	95.9%	指標式	朝ごはんを食べている子ども数／調査した子ども数×100（香川県下の小学6年生）	実績値	目標値	達成度	②		23,832人	27,000人	88.3%	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>家庭教育学級延受講者数</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>23,832人</td> <td>27,000人</td> <td>88.3%</td> </tr> </table>	指標名	家庭教育学級延受講者数	実績値	目標値	達成度	②		23,832人	27,000人	88.3%	年度に実施した家庭教育学級を受講した延人数		
指標名	朝ごはんを食べている子どもの割合（香川県下の小学6年生）	実績値	目標値	達成度																															
①		86.3 %	90.0 %	95.9%																															
指標式	朝ごはんを食べている子ども数／調査した子ども数×100（香川県下の小学6年生）	実績値	目標値	達成度																															
②		23,832人	27,000人	88.3%																															
指標名	家庭教育学級延受講者数	実績値	目標値	達成度																															
②		23,832人	27,000人	88.3%																															
課題	真に家庭教育の啓蒙・啓発が必要な保護者に対する、継続的なアプローチの方策を講じるほか、地域、学校、関係団体、家庭などとの多面的連携の強化を図る必要がある。																																		

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業 1,139千円	子どもたちが生活リズムを向上させ、学習やスポーツ、読書など様々な活動にいきいきと取り組めるよう、小学校の就学時健康診断を活用して、就学前の児童の保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発を実施したほか、保育所・幼稚園・小学校・中学校への啓発用ちらしの配布や、小・中学校の児童生徒に「生活リズムチェックシート」を配布したことにより、子どもたちの基本的生活習慣の形成に努めた。
2	家庭教育推進事業 2,752千円	小学校・幼稚園等において、保護者を対象とした「家庭教育学級」を開設したほか、就学時健康診断等の機会を活用して、子育てに精通した専門の講師による「子育て力向上応援講座」を実施することにより、家族の役割や子育てに関する多種多様な学習機会・関連情報を提供し、家庭の教育力の向上に努めた。
3	子どもを中心とした地域交流事業 950千円	地域の子ども会、PTA、婦人会など複数の各種団体で構成された実行委員会が実施する、子どもとその保護者並びに地域の大人が交流できる事業や通学合宿を支援することにより、地域の教育力向上に努めた。

平成27年度 施策の概要調書

施 策	青少年の健全育成			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
				43,509千円	51.4(51.2)
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	生きる力を育む教育の充実				
担当局	教育局				
対象	市内の青少年				
目的	子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指す。				
概要（実績）	<p>(概要) 青少年の非行防止活動を始めとする青少年健全育成事業やPTA・子ども会など社会教育団体との協働による子どもたちの幅広い交流体験活動などを通じて、青少年が心身ともに健やかに成長できる取組を推進する。</p> <p>(実績) <ul style="list-style-type: none"> ・非行防止活動事業 少年育成センターでは、市内を13ブロックに分け、毎日2~3班で補導・巡回活動を実施した。また、インターネット利用に係るトラブルの未然防止を図るため、小学校4年生及びその保護者を対象とした情報モラル教育推進事業に取り組んだ。 ・少年団体育成・仲間づくり推進事業 高松市子ども会育成連絡協議会との共催による新春子どもフェスティバル等、様々な体験活動を通じて大人や異年齢の子どもたちと交流した。 </p>				
成果指標	指標名	未成年者千人当たりの不良行為少年の補導人数 (高松4警察署管内)	実績値	目標値	達成度
	①		15.8 人	20 人	121.0%
	指標式	未成年者千人当たりの不良行為少年の補導人数 (減少が望ましい)			
課題	家庭の教育力向上を推進するとともに、地域、学校、関係機関などとの多面的かつ緊密な連携強化が必要である。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1 社会教育団体育成支援事業 4,650千円	教育局 生涯学習課	高松市PTA連絡協議会や高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体を支援し、団体の自立を図ることにより、団体の自主的な活動を促進し、加入児童等の健全育成に寄与した。
2 成人式式典事業 4,888千円	教育局 生涯学習課	新成人となる青年が、大人になったことを自覚するとともに、自立していく決意を新たにしてもらうため、成人式を開催したところ、約63%の新成人の参加があり、厳粛に式典を実施したことで、大人になるという大きな節目の行事として一定の役割を果たした。
3 非行防止活動事業 29,989千円	教育局 生涯学習課（少年育成センター）	少年非行の早期発見・早期指導等を行うため、少年育成センターでは市内を13ブロックに分け、毎日2~3班で補導・巡回活動を行った。地域においては、少年育成委員が中心となり、各校区で月1回以上の巡回活動を実施するなど、青少年の健全育成と非行防止活動を推進した。 さらに、インターネット利用に係るトラブルの未然防止を図るために、小学4年生及びその保護者を対象とした情報モラル教育推進事業に取り組んだ。
4 少年育成センター運営事業 342千円	教育局 生涯学習課（少年育成センター）	関係機関及び団体等と連絡調整を図り、少年の非行を防止するとともに、健全な育成について必要な業務を総合的に行う少年育成センターの業務に関する基本的な事項を協議するため、少年育成センター運営協議会を開催した。
5 少年教育推進事業 3,159千円	教育局 生涯学習課	子どもたちが土に親しみ、農作物を育てる喜びや勤労の尊さを体験し、健康で情操豊かな子どもの育成に資するため、こども農園を開設したほか、新春子どもフェスティバルなど子ども会との共催事業や子ども会リーダー研修会等を実施し、子ども会活動の充実・発展に努めた。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	青年教育推進事業 481千円	青年教育の振興を図るため、関係団体を支援したほか、ボランティアの協力により、知的障がい者青年教室を年間8回実施し、知的障がいのある青年が、様々な体験活動を通じて知識・技能を習得するとともに、人とふれあう喜びを体験する機会を提供了。
	教育局 生涯学習課	

平成27年度 施策の概要調書

施 策	子どもの安全確保			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
				4,469千円	59.6(60.4)
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	生きる力を育む教育の充実				
担当局	教育局				
対象	児童生徒及び関係機関・団体				
目的	児童生徒を事件や事故、犯罪から守るために安全対策を推進する。				
概要 (実績)	<p>(概要) 子どもたちを事件や事故、犯罪から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、防犯の専門家である警察官OBのスクールガード・リーダーを派遣するとともに、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育の推進などに取り組む。</p> <p>(実績) 安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園、こども園、小学校へのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行うなど、子どもの安全確保に努めた。</p>				
成果指標	指標名	不審者情報メール1次配信先数（市立学校・幼稚園・保育所、市PTA連絡協議会など）	実績値	目標値	達成度
	①		474 件	500 件	94.8%
課題	スクールガード・リーダーの人員確保やメール配信先の拡充、更には、学校における相談体制の充実や安全教育の推進など、安全対策強化への取組が必要である。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	子どもの安全確保活動事業 4,469千円	防犯の専門家である警察官OBをスクールガード・リーダーとして委嘱し、市立の小学校等に派遣し、登下校時の巡回活動や学校の安全体制に関する指導助言を行った。 また、少年育成センターに寄せられた不審者情報をメール配信し、少年育成委員、学校、保護者、各関係団体等と情報を共有した。
2	教育局 生涯学習課（少年育成センター）	児童生徒を、事件や事故、犯罪から守るため、来庁や電話による相談体制を充実したほか、安全教育に関する教員研修を実施することにより、児童生徒の安全対策が向上した。
	教育局 学校教育課	

平成27年度 施策の概要調書

施 策	高等教育の充実			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
				0千円	53.9(50.1)
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	生きる力を育む教育の充実				
担当局	市民政策局				
対象	大学等高等教育機関への進学者、大学等高等教育機関の在学者、大学等の高等教育機関				
目的	高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、高等教育機関の充実と教育環境の整備を図り、市内及び近隣の高等教育機関への進学者を増加させる。				
概要 (実績)	<p>この施策では、施策目標に直結する具体的な事務事業は実施していないが、「連携の推進」施策の事務事業として「大学等との連携事業」があり、香川大学、香川高等専門学校、高松大学・高松短期大学、四国学院大学、徳島文理大学と調査研究・共同事業を実施している。</p> <p>こうした研究活動を通じて、学生が地域と関わる大学等の地域貢献の機会を創出し、地域における地元大学等への親近感を深めるとともに、地元大学等への入学の機運を高めた。</p>				
成果指標	指標名	大学等との連携・協力事業数	実績値	目標値	達成度
	①		79 事業	80 事業	98.8%
	指標式	大学等と実施した連携事業及び協力事業の累積件数（包括協定に基づき個別に契約等を行ったものを含む。）			
課題	本市が行っている大学等との連携が、高等教育の充実により大きな影響を与えるよう検討する必要がある。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費	事業内容
担当課	
	該当の事務事業がない。

平成27年度 施策の概要調書

施 策	生涯学習の推進	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		420,392千円	59.5(57.5)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政 策	心豊かな生涯学習社会の形成
担当局	教育局

対象	市民				
目的	心豊かな生涯学習の形成を図るため、学習機会の拡充や、学びの場の充実と活用により生涯にわたって学習することができる環境を整える。				
概要（実績）	いきいき高松まなびプラン（高松市生涯学習基本計画）の推進事業 生涯学習の機会や情報の提供、地域生涯学習支援事業 図書館文化活動事業、図書館資料整備事業				
成果指標	①	生涯学習をしている人の割合	実績値 35.5 %	目標値 50.0 %	達成度 71.0%
	②	生涯学習をしていると答えた人数／生涯学習アンケート回答者数×100			
	①	市民1人当たり貸出冊数	実績値 6.8 冊	目標値 7.0 冊	達成度 97.1%
	②	年度総貸出冊数／人口			
課題	市民の生涯学習の振興を図るため、市民ニーズを的確に把握するとともに、学習機会や学習施設・機能の一層の充実に努める必要がある。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	高齢者教育推進事業 2,164千円	<p>コミュニティセンターを中心に高齢者教室を開設し、多種多様な学習機会を提供することにより、高齢者の生きがいづくりや社会活動への参画を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者教室の開設数 51教室
2	生涯学習推進事業 2,227千円	<p>少子高齢化や情報化、環境問題などの現代的課題をテーマとした講座や、大学等との連携による各種の専門講座のほか、多様な団体等と連携し、市民の学習ニーズに応じた様々な講座を開催するなど、幅広い市民に学習機会を提供するとともに、さらに幅広い市民の利用が得られるよう、まなび映画CANや市民ギャラリー活用事業等を行った。</p> <p>【実績】 177講座を開催（回数328回、受講者数8,313人）</p>
3	市民参画促進事業 620千円	<p>市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、公募型の自主企画講座「センター遊友塾」や、地域で生涯学習を推進するコーディネーターの養成講座のほか、市民による自主的な生涯学習の推進を図る市民参画促進委託事業等を実施し、生涯学習事業等の企画・運営などに、市民が積極的に参加できる環境の整備に努めた。</p> <p>【実績】 23講座を開催（回数48回、受講者数1,291人）</p>
4	コミュニティセンター講座事業 21,369千円	<p>52コミュニティセンターにおいて、人権・環境問題などの現代的課題や学校週5日制に対応した各種の講座のほか、高齢者教室、家庭教育学級等を実施するとともに、自主的な学習活動の場を提供し、地域住民の学習意欲に応えた。</p> <p>【実績】 • 主催事業7,163回の講座を開催（参加人数162,304人） • 共催事業35,779回（参加人数452,672人） </p>
5	公共施設利用総合情報システム管理事業 442千円	<p>かがわ電子自治体システムの施設利用申込サービスを活用し、インターネットを通じた生涯学習センターの施設の空き状況照会や予約ができるサービスを提供するとともに、効果的な管理運営に努めた。</p> <p>【実績】 施設予約電子申請件数（インターネット743件、業務端末2,394件）</p>

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	生涯学習センター管理運営事業 34,613千円	生涯学習の拠点施設である生涯学習センターの適切な運営と施設の維持管理を行った。
教育局 生涯学習課（生涯学習センター）		
7	図書館運営事業 225,568千円	中央図書館及び各地域館において図書館のネットワーク化を図り、図書館間での資料の貸出・返却・予約を可能とするほか、移動図書館車3台により市内87か所の巡回と、「瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定」に基づき、直島町2か所への巡回も行った。また、資料収集については、資料の選定や収集を工夫し、多様化する市民の生涯学習意欲に応えられるよう努めたほか、地域課題解決支援の一環として、子育て支援事業、ビジネス支援事業も積極的に行なった。 なお、図書館外施設での予約図書取次事業も継続的に実施した。
教育局 中央図書館		
8	図書館文化活動事業 818千円	子どもの読書活動を推進するため、子ども読書まつりや子供向け講座を開催したほか、子どもを対象としたおはなし会を行うボランティアの技能向上等を図るため、講座・研修会を実施するとともに、ビジネス関係のセミナー等を開催した。 第11回子ども読書まつり参加者 約1,500人 各種講座開催回数 18回
教育局 中央図書館		
9	図書館管理事業 131,717千円	中央図書館・菊池寛記念館・歴史資料館及び各地域館の施設維持管理事業で、開館後20数年を経過し、老朽化が進んでいるサンクリスタル高松の建物を適切に維持管理することにより、図書館等利用者への安全で快適な環境を提供した。 なお、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：120,000円)
教育局 中央図書館		
10	いきいき高松まなびプラン（高松市生涯学習基本計画）推進事業	平成25年度から5年間を計画期間とし、「ともに学び・支えあう、地域力を育む生涯学習社会の創造」を目標に掲げ策定した「いきいき高松まなびプランIII—高松市生涯学習基本計画—」に基づき、市民の生涯学習の充実とともに、市民が自らの学習成果を地域や社会で活かし活動できるよう、各種施策・事業を実施した。
	教育局 生涯学習課	

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	ふれあい創作館管理事業 652千円	ふれあい創作館の施設を適切に維持管理したことにより、地域活動拠点の場を提供した。
	教育局 生涯学習課	

平成27年度 施策の概要調書

施 策	スポーツ・レクリエーションの振興			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
				2,474,394千円	57.0(54.5)
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	心豊かな生涯学習社会の形成				
担当局	創造都市推進局				
対象	市民				
目的	スポーツ・レクリエーション活動の推進やスポーツ施設の整備などを行い、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。				
概要 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設等管理運営事業 ・屋島陸上競技場再整備事業 ・市民スポーツ活動推進事業 ・市民スポーツフェスティバル開催事業 ・学校体育施設開放事業 ・地域密着型トップスポーツチーム支援事業 ・ヨット競技場再整備事業 ・南部地域スポーツ施設（仮称）整備事業 				
成果指標	①	指標名	総合型地域スポーツクラブ数	実績値	目標値
				9 クラブ	10 クラブ
	②	指標名	社会体育施設の利用者数	実績値	目標値
				1,935,838 人	1,560,000 人
課題	市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興の更なる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名および事業費		事業内容
担当課		
1	南部地域スポーツ施設 (仮称) 整備事業 15,127千円	平成27年1月より実施していた高松市南部地域スポーツ施設(仮称)整備実施設計が完了し、設計内容について、地元と協議を重ねたところ、設計内容の一部見直しを行うこととなった。そのため、設計内容の見直しによる修正業務委託料を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：2,666,000円) また、前年度からの繰越し事業である高松市南部地域スポーツ施設(仮称)整備実施設計」については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：4,050,000円)
2	屋島陸上競技場再整備事業 1,433,920千円	屋島競技場の建設工事は、約50%の出来高の進捗状況で、概ね予定どおり進んでいるが、建設工事等に日時を要したことにより、事業の一部を翌年度に繰り越した。 外装、内装の工程を同時にを行うことで、工程遅延を取り戻すこととしている。 (繰越明許費繰越額：1,496,560,000円) また、前年度からの繰越し事業である建設工事については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：450,750,000円)
3	地域密着型トップス ポーツチーム支援事業 16,565千円	サッカーのカマタマーレ讃岐など4つの地域密着型トップスポーツチームと地域との連帯感を醸成するため、香川プロスポーツクラブ連絡協議会が行うイベントに対する負担、各チームが行う練習・教室に係るスポーツ施設等使用料に対する補助、ユニフォーム等への高松市ロゴの掲載やホームゲームでの優秀選手表彰及びスポーツ施設の優先使用等の支援事業を実施した。
4	市民スポーツ活動推進事業 47,354千円	生涯スポーツの振興を図るため、地区体育協会や高松市体力つくり市民会議等と連携・支援する中で、地区対抗による6種目の大会やこんぴら健脚大会等の各種事業を実施するとともに、高松市体育協会への支援を通じて、競技力の向上に取り組んだ。また、青少年のスポーツ振興を図るため、スポーツ少年団の認定員養成講習会などの事業への支援を行った。さらに、地区におけるスポーツに関する指導・助言やスポーツ行事の企画運営などを行うスポーツ推進専門委員の活動によって、市民の健康・体力つくり運動の普及推進、スポーツ人口の拡大に寄与した。
5	市民スポーツフェス ティバル開催事業 12,000千円	12種目の小学校区対抗競技大会、市内6ブロック対抗水泳競技大会、トリムの祭典及び高松ファミリー&クオーターマラソンinAJIを実施し、10,852人が参加し、市民の健康・体力つくり運動の普及推進、スポーツ人口の拡大に寄与した。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名および事業費		事業内容
担当課		
6	学校体育施設開放事業 19,340千円	地域、職場等のコミュニティ・スポーツの場として、小学校体育施設については全校区、中学校体育施設については15校の学校体育施設開放事業を促進し、スポーツ活動の振興に取り組んだ。また、中学校体育施設の開放校を拡充するための検討・協議を進めた。
7	創造都市推進局 スポーツ振興課 スポーツ施設等管理運営事業 920,741千円	スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営を行った。 なお、仏生山公園温水プール天井等改修工事等については、工法の検討などに日時を要したことにより、工事費等を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：129,550,000円) また、前年度からの繰越事業である高松市総合体育馆屋上防水改修工事等については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：128,046,960円)
8	ヨット競技場再整備事業 9,347千円	平成27年度において、実施設計を取りまとめ、平成27年12月から本体工事に着手した。 なお、建設工事については、関係者との協議・調整に日時を要したことにより、建設工事費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：64,830,000円)
	創造都市推進局 スポーツ振興課	

平成27年度 施策の概要調書

施 策	文化芸術活動の推進			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
				140,241千円	56.6(57.9)
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	地域に根ざした文化芸術の創造と振興				
担当局	創造都市推進局				
対象	市民				
目的	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。				
概要 (実績)	デリバリー・アーツ事業 • 公演回数 16回、鑑賞者数 1,540人 文化芸術活動推進事業 • 学校巡回芸術教室21回、学校巡回能楽教室6回 • 文化芸術活動補助50件、文化団体活動補助13団体 美術館運営事業 • 常設展 0回、特別展 5回 菊池寛顕彰事業 • 文学展等の開催 • 香川菊池寛賞及び菊池寛ジュニア賞の作品募集選奨				
成果指標	①	指標名 デリバリー・アーツ事業鑑賞者数		実績値 1,540人	目標値 2,300人
		指標式 年間の事業参加者数		達成度 67.0%	
課題	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援など、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	デリバリーアーツ事業 4,270千円	市民の身近に文化芸術を出前するデリバリーアーツ事業を実施し、外に出られない人を中心に優良芸術を鑑賞する機会づくりを行った。クラシック音楽会、和太鼓演奏、落語など6メニュー計16回の公演を実施し、鑑賞者数は1,540人となった。
2	創造都市推進局 文化芸術振興課 文化奨励賞贈呈事業 554千円	高松市文化芸術振興計画（平成27年3月策定）に基づき、高松市文化奨励賞については、表彰制度を再編し、新人部門を新たに設け、顕彰部門とともに、2つの部門で各2名ずつの計4名を選考し、贈呈した。本事業は、受賞者の将来における活躍を意図し、本市の文化芸術の振興・発展に寄与するものとする。
3	市民文化祭開催事業 8,486千円	高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2015を開催し、文化活動の発表の場と関係各団体の相互交流及び作品鑑賞の機会を作った。14団体が出演し、来場者は8,168人となった。
4	創造都市推進局 文化芸術振興課 文化芸術活動推進事業 22,841千円	文化団体の育成・援助及び文化芸術活動事業補助を実施し、文化団体の自主的な活動を促進した。また、児童生徒を対象に学校巡回芸術教室、学校巡回能楽教室を実施し、優良芸術を鑑賞・体験する機会づくりを、ものづくりふれあい教室の実施により、手作りでものづくりにチャレンジする機会を提供した。さらに、邦楽を中心としたコンサートや、瀬戸・高松広域定住自立圏域内の児童を招待し、劇団四季ミュージカル「こころの劇場」公演事業を開催することにより、生の文化芸術に触れる機会を提供した。 また、前年度からの繰越事業である学校巡回芸術・能楽教室事業及びものづくりふれあい教室事業については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：6,816,149円)
5	美術館運営事業 27,869千円	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、改修工事による休館中ではあったが、市内2会場にて4つの「おでかけ」コレクション展の開催ほか、リニューアルオープン記念事業として特別展を開催した。美術館ボランティア等によるギャラリートーク活動を行ったほか、リニューアルオープンを記念して「作品選集」の発行及び講演会やコンサートを開催した。 また、塩江美術館においても、「塩江アートプロジェクト」など地域に密着した各種展覧会を開催するとともに、企画展関連イベントとしてコンサートを開催するなど文化芸術の向上に努めた。市民に親しまれ、魅力ある美術館となるよう「美術館の日」（8月第1土曜日）に展覧会の観覧料を無料とするとともに、親子で楽しめるイベントなどを実施した。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	菊池寛顕彰事業 6,109千円	高松市が生んだ偉大な文化人である菊池寛の功績を顕彰するとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、「香川菊池寛賞」や市内の小・中学生を対象とする「菊池寛ジュニア賞」の作品募集選奨事業を行っている。 また、市民が文学に触れる機会を提供するため、文学展をはじめ文学探訪や記念講演会、文学講座などの文化活動事業を実施したことにより、地域に根ざした文化芸術の普及と振興に効果があった。
	創造都市推進局 文化財課	
7	高松国際ピアノコンクール事業 2,800千円	コンクールが開催されない年度であったが、推進事業として審査員、入賞者の演奏会や公開レッスン、学校訪問リサイタル、公共施設リサイタルを実施した。また、第3回高松国際ピアノコンクールの本選を収録したDVDを香川県内の高・中・小学校へ配布した。本コンクールが、より市民に親しみやすく、地域に育まれるコンクールとなるよう推進した。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
8	高松メディアアート祭開催事業 42,331千円	高松メディアアート祭2015を、平成27年12月18日から27日までの10日間、中心市街地4か所で開催した。世界各国から様々な作品が集結し、コンペティション受賞作品も展示された。新しく創出される文化芸術活動の支援としても位置付けられたが、今後、実施方法を再検討する必要がある。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
9	アート・シティ高松プロモーション事業 24,981千円	高松市文化芸術振興計画に基づき、新規事業としてアートディレクター推進事業、アーティスト・イン・レジデンス事業、継続事業として0才からのコンサート事業、まちなかコンサート事業、たかまつ大道芸フェスタ事業を実施した。多様なアート展開を通して、市民に対し、活動の場や機会を拡充し、文化芸術を活かしたまちづくりを実施した。 なお、国の地方創生加速化交付金事業の執行に当たり、施行期間を確保するため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：10,000,000円)
	創造都市推進局 文化芸術振興課	また、前年度からの継越事業であるアートディレクター推進事業及びアーティスト・イン・レジデンス事業については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：5,610,509円)

平成27年度 施策の概要調書

施 策	文化芸術を創造する環境づくり			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
				2,581,851千円	57.7(57.7)
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	地域に根ざした文化芸術の創造と振興				
担当局	創造都市推進局				
対象	市民				
目的	文化芸術施設相互の連携を図る中で、その整備と機能の充実に努めるとともに、文化芸術の交流や効果的な情報発信を図り、文化芸術を創造する環境をつくる。				
概要 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術ホール管理運営事業 ・文化芸術ホール管理運営、自主事業 美術館管理事業 ・施設運営、建物の維持管理 美術館資料収集事業 ・美術品購入 10点 瀬戸内国際芸術祭開催事業 歴史資料館常設展事業 ・企画展3回・ロビー展10回開催、資料整備 				
成果指標	①	指標名	高松市美術館の展覧会観覧者数	実績値	目標値
		指標式		6,160人	160,000人
課題	②	指標名	瀬戸内国際芸術祭2016	実績値	目標値
		指標式	観覧者数	19,989人	190,000人
	今後、文化施設の老朽化に伴い、修繕などに係る維持管理経費の増加が見込まれるため、ファシリティマネジメントに基づき、長期修繕計画を策定する必要がある。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	瀬戸内国際芸術祭推進事業 57,001千円	平成28年3月20日から、瀬戸内国際芸術祭2016が開幕となった。本市会場の女木島、男木島、大島、高松港周辺の案内所運営を始め、芸術祭実行委員会と連携し、芸術祭の成功に向けて各事業に取り組んだ。交流人口が増加し、情報発信がなされた。 なお、瀬戸内国際芸術祭での作品展開が夏会期で実施することとなり、加えて、国の地方創生加速化交付金事業の執行に当たり、施行期間を確保するため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：12,000,000円)
2	元香南陶芸館管理事業 742千円	元香南陶芸館を香南陶芸クラブに貸し付けるとともに、施設の維持管理を行った。
3	文化芸術ホール管理運営事業 565,761千円	公益財団法人高松市文化芸術財団を文化芸術ホールの指定管理者として指定し、同ホールの効果的な管理運営を実施するとともに、同財団が実施する情報誌等発行事業、ホームページ運用事業、財団自主事業に対し、助成を行うことにより、文化芸術振興事業を推進した。
4	菊池寛記念館管理運営事業 12,839千円	菊池寛の業績を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、調査研究、保管及び展示を実施するなど、後世に残す適切な管理運営を行った。
5	歴史資料館管理運営事業 13,571千円	高松市の歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、歴史・民俗資料等の収集、調査研究、保管など適切な管理運営を行った。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	美術館資料収集事業 21,894千円	美術品取得方針に基づき、美術品の系統的な収集を行った。
7	美術館管理事業 100,284千円	収蔵品を適切に保管するとともに、快適な鑑賞環境を維持するため、設備機器の点検や警備、清掃等の業務を委託し、管理運営を行った。
8	美術教育普及事業 940千円	特別展等の開催に併せて、子どものアトリエや各種ワークショップ、塩江美術館陶芸教室などを開催し、美術教育普及事業を行った。
9	香南歴史民俗郷土館管理運営事業 13,105千円	香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という立地を生かして、高松平原南部地域の資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示等の情報発信及び講座などの教育普及活動を行った。
10	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 9,626千円	特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を説明するため、展示等の情報発信及び講座などの教育普及活動を行った。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	石の民俗資料館管理運営事業 23,699千円	石と人間のかかわりの文化を観点に資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示等の情報発信及び体験学習などの教育普及活動を行った。
12	歴史資料館教育普及活動事業 4,624千円	サンクリスタル学習の受入、企画展での講演会、夏休み子ども歴史講座等の各講座を開催し、郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められるような教育普及事業を行った。
13	歴史資料館常設展事業 7,120千円	高松の歴史や文化に関わる資料の収集及び保存、収蔵資料の整理調査を行い、収蔵品システムへの登録を進めた。また、企画展3回・ロビー展10回を開催するとともに資料館サポーターによる展示解説を年間を通して10回開催した。
14	美術館改修事業 1,677,660千円	平成27年1月から「文化芸術の発信拠点としての機能強化」を基本方針として、「高松市美術館改修基本計画」をもとに改修工事を行い、平成28年3月に完了した。 なお、前年度からの繰越事業である美術館改修事業については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：367,200,000円)
15	高松国分寺ホール管理運営事業 41,393千円	日本管財・JTBコミュニケーションズ共同事業体を高松国分寺ホールの指定管理者として指定し、同ホールの管理運営を行い、自主事業に対し助成を行った。

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
16	“瀬戸の都・高松”石彫トリエンナーレ事業 22,391千円	平成27年度の開催が10回目となり、節目としてふさわしい招待作家（ジュリアン・オピー／イギリス）による作品制作と過去の作品を生かした事業を実施した。牟礼町、庵治町が全国有数の石材産地であることを発信し、市民が芸術作品に触れる場の提供を行った。
17	創造都市推進局 文化芸術振興課 瓦町アートステーション管理運営事業 9,201千円	コトデン瓦町ビル（瓦町FLAG）8階を高松市が市民交流プラザとして整備したもののうち、当該フロアの文化芸術スペースを瓦町アートステーションとして開館した。交通の結節点において文化芸術活動の創造・発表・交流の拠点とし、文化芸術を創造する環境を整えた。

平成27年度 施策の概要調書

施 策	文化財の保存と活用			事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
				325,145千円	58.7(59.0)
まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち				
政 策	地域に根ざした文化芸術の創造と振興				
担当局	創造都市推進局				
対象	本市の歴史文化遺産のなかで、国・県・市において指定する等、調査・保存・活用するのに相応しいもの				
目的	本市の歴史文化遺産の保存・管理と公開・活用を図る				
概要 (実績)	屋嶋城跡城門遺構整備事業の完了に加えて、城門を仮想体験できる端末アプリを導入し、一般公開を開始した。その他の事業として、史跡等の内容確認を目的とした調査を史跡天然記念物屋島及び史跡石清尾山古墳群追加指定に関して実施するとともに、開発事業に対応する事前の確認調査を市内の各遺跡において実施した。更に史跡讃岐国分尼寺跡においては、史跡保存のために土地買上事業を実施した。また管理部門では、指定文化財の管理等事業に対する補助金の支出、史跡地等における除草・剪定、文化財説明板の設置やふるさと探訪等学習会の開催に加え、埋蔵文化財の調査・情報発信等の中核施設である埋蔵文化財センターの運営を行った。				
成果指標	①	ふるさと探訪等文化財学習会の参加者数	実績値	目標値	達成度
			1,171人	1,200人	97.6%
		年間の文化財学習会参加者数			
課題	指定文化財及び整備事業の件数増加により、適正に維持管理するまでのコスト増が予想される。				

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	古代山城屋嶋城跡城門遺構整備事業 207,110千円	「日本書紀」に記述のある飛鳥時代に造られた古代山城屋嶋城の遺構を将来にわたって残していくため、城門及び城壁遺構の保全と周辺整備を行う事業である。最終年度になる平成27年度において整備事業を完了させ、年度末には一般公開することができた。 なお、整備報告書の刊行については、調査業務の実施に不測の日時を要したことから、年度内に完了することが困難となつたため、その予算を翌年度へ繰越した。 (繰越明許費繰越額：2,832,000円) また、前年度からの繰越事業である「屋嶋城跡城門北側石垣及び城門部分の修復工事」については完了した。 (平成26年度繰越明許事業費：56,869,318円)
	創造都市推進局 文化財課	
2	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業（稻荷山地区） 9,757千円	紫雲山（稻荷山地区）に所在する積石塚について、国指定史跡石清山古墳群への追加指定を目指し、文化財的価値を把握する調査を実施する事業である。27年度においては、計画のとおり調査を実施し、稻荷山北端1号墳の墳形等、古墳の価値を知ることができる成果を得た。
	創造都市推進局 文化財課	
3	文化財保存活用推進事業 29,620千円	指定文化財の管理・修理・伝承公開事業に対する補助金支出、説明板の設置、さらに、ふるさと探訪等文化財学習会を開催し、文化財の保存と活用に寄与できた。
	創造都市推進局 文化財課	
4	文化財調査事業 29,148千円	市内の史跡及び埋蔵文化財包蔵地の内容確認を実施し、文化財の適切な保護、活用を図る上で必要な資料蓄積を行った。 また、新病院整備事業に伴う埋蔵文化財調査については、平成24年度に完了した発掘調査の成果を取りまとめる作業を実施した。
	創造都市推進局 文化財課	
5	史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業 11,936千円	史跡讃岐国分尼寺跡は、天平13年（奈良時代）、聖武天皇の詔勅によって建立された「法華滅罪之寺」である。現在の法華寺を中心に東西約180～200m、南北180mの範囲が史跡に指定されており、文化財保護法によって建築等の現状変更が許可されない地域となっている。このため市は、史跡内に土地を所有する住民の財産を補償するものとして、国庫補助事業として、買上げを実施しており、27年度については、年度当初の計画どおり公有化できた。
	創造都市推進局 文化財課	

平成27年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	史跡天然記念物屋島保存・整備事業 10,776千円	史跡・天然記念物屋島の価値の再確認及び新たな価値を発見するため、史跡・名勝・天然記念物の各分野における調査を実施しているものである。27年度の基礎調査は、浦生地区の屋嶋城跡城壁及び北嶺の千間堂跡の調査を実施するとともに、26年度に実施した屋島全体のヘリレーザー測量の図化を行った。また、名勝調査を26年度より引き続き大学との協働により実施し、調査完了による報告書を刊行した。
7	四番丁スクエア等管理運営事業 9,583千円	文化財保護法に依拠した文化財の保存及び活用を図るため、整理作業及び展示・普及啓発を実施した。こうした埋蔵文化財センターとしての事業運営に加えて、コミュニティ、市民活動センター、創造支援センターの複合施設や学校開放及び地域活動の場を維持する上で、必要な管理業務を実施した。
8	史跡・天然記念物屋島活用事業 17,215千円	平成27年度で古代山城屋嶋城跡城門遺構整備事業が完了することから、オープン記念の式典を開催するとともに、城門をCGにより復元し、ARにより体験できる屋嶋城アプリの製作を行った。また史跡天然記念物屋島に関する連載講座、市内小学生を対象にした学習会であるサンクリスタル屋島学習を開催した。